

横手城南高等学校アクティブボランティア第2弾！

山内三又地区 山内にんじん収穫ボランティア

例年より少し遅い11月6日（日）。天気予報では午後から雨だったので、なんとか晴れ間のうちに終わらせたい、との祈りを込めて30名で山内地区の山内にんじん収穫ボランティアを行いました。

山内三又地区に着くと、いつものように営農生産組合の方々が待っていてくださいましたが、今年はコロナの影響があって活動場所が縮小されてしまっていました。毎年訪れていた畑で今年も楽しみにしていたので、とても残念でした。



代わりに、今年はいぶりがっこ用にいぶした大根を縄から外す作業をしました。軽トラックの荷台に載ってやってきたたくさんの大根を、黙々と外していきます。終わる頃には軍手がほんのりと茶色く色付き、スモーキーな香りがしていました。

一方、予定通りにんじんの収穫に向かった生徒たちは、畑に着くとまさかの保育園児たちが待っていてびっくり！「お兄さん、お姉さんがにんじんを掘るところを一緒に見たい」とやってきたようで、さっそく小さな訪問者たちと一緒に、なかなか抜けない山内にんじんと格闘していました。

山内にんじんは、他のにんじんよりも地中深くに伸びています。スコップで傷つかないように周りを掘ってから、直接にんじんを掘り出します。想像以上に体力を使う仕事で、小春日和にいい汗をかくことができました。



作業が終わって休憩場所に戻る頃に、空が暗くなり始め、ついに雨が降りました。

抜群のタイミング！

帰りのバスは軽く居眠りしながら、今年度のボランティアを終え帰路につきました。

